

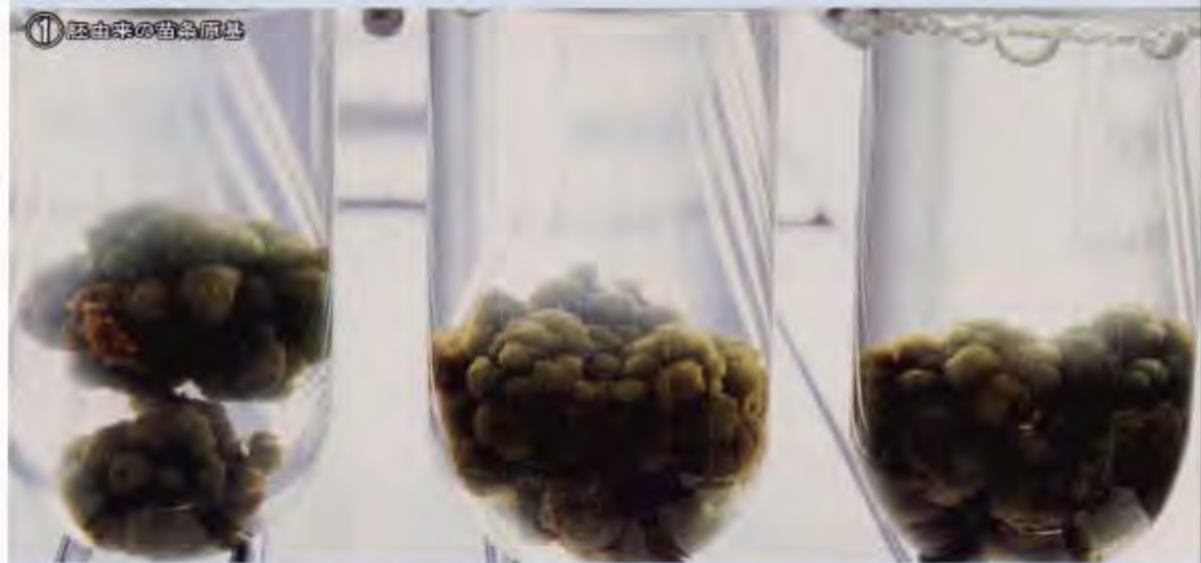
グリーントピックス

北海道立林業試験場

No.8

ハイブリッドカラマツの芽の大量増殖法

① 胚由来の芽条原基



② 不定芽の分化過程(約4週間)



③ 不定芽の分化過程(約6週間)



ハイブリッドカラマツの種子から大量の芽を短期間で増殖する新しい方法が明らかになりました。

種子の中から胚を取り出し、液体培地で回転培養すると芽の素（芽条原基）ができ、増え続けます。その一部を寒天培地に置くと多くの芽が発生します。試験管1本分の芽の素を12週間回転培養すると約530万個分の芽を作れるだけの量に増える計算になります。

優良なハイブリッドカラマツ苗を組織培養により、大量に生産するシステムの開発にとって、有力な手段となるものです。